

防災講座

2026（令和8）年7月9日

世田谷保育園内 おでかけひろばどんぐり

若林町会1丁目ネットワーク代表・広報部長の月村様を迎え、親子で備える防災についてお話を伺いました。

月村様は防災士や災害ボランティアコーディネーターとしてもご活躍されています。

世田谷保育園でも避難訓練の様子も見て頂きました。



こちらが月村さんです！

教えて頂いた防災情報は、

- ・避難場所は空間も狭く、支援物資も限られているので、自宅の安全が確保されている場合には、在宅避難がお勧め。
- ・実際に災害が起きてライフラインが止まると、復旧に最低1ヶ月はかかり、ゴミの回収も1か月は来ないことを想定して、災害用トイレを使用した後の臭い対策のできるものも準備しておくといい。
- ・防災グッズの中に、液体ミルク、おむつや赤ちゃん用のご飯（月齢に合ったベビーフード）やおやつ、お気に入りのおもちゃや持っている落ち着くグッズを入れておくといい。
- ・若林町会の避難先である教育センターには、お子さん連れファミリー用のテントの用意（数に限りあり）がある。
- ・自宅で水や非常食を用意する際、思っている量の5～10倍は用意しておくといい。

＊若林町会作成の避難場所などが載っているリーフレットもひろばに置いてありますので、ぜひご覧ください。

この地域の話聞いて良かった！

在宅避難には、アイラップが大活躍！